

# 『地理A』シラバス

科目名	学科	学年	必修/選択	単位数
地理 A	全学科	2年	選択	2単位

## 1. 科目目標と使用教材

科目目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
使用教材	地理 A (東京書籍) 新高等地図 (東京書籍)

## 2. 学習計画

学期	学習項目	学習目標
1 学 期	・球体上の世界と地域構成	・地球儀と世界地図との比較、略地図の描図などを通して、地球表面の形状・位置関係、方位、時差及び日本の領域について捉える。
	・結びつく現代世界	・交通・通信の発達、人や物の国際間の移動について主題図 ・統計を用いて、諸地域の結びつきや変化を捉える。
	・多様化を増す人間行動と現代世界	・世界各地の消費・余暇に関する資料の収集、分析を通して、世界の人々の多様化する行動を地理的環境と関連づけて捉える。
2 学 期	・世界的視野から見た自然環境と文化	・地域の自然環境と社会環境について、世界的視野で大観し、地理的環境と人びとの生活・文化を関連づけて考える視点や方法について理解する。
	・諸地域の生活・文化と環境	・地域の生活・文化を社会環境や自然環境などの条件・歴史的な民族性等と関連づけて追究し、各地域が日本とは異なる多様な環境条件のもとに成り立つことを理解する。
3 学 期	・近隣諸国の生活・文化と日本	・近隣諸国の生活・文化の特色を理解し、日本との共通性、異質性について考える。 ・近隣諸国の生活・文化を理解・尊重する必要性について考える。
	・さまざまな地球的課題	・環境、資源・エネルギー、人口、食料および居住・都市問題について、それぞれの課題が関連し合っていることを理解する。
	・地域から見た地球的課題	・地球的課題の解決のためには、地域性を踏まえた国際協力が必要であることを理解し、日本の役割について考える。

### 3. 学習方法

授業は教科書・プリント・地図帳を使います。授業をしっかりと聞いてプリントをしっかりと埋めるようにしましょう。地図・統計を使った作業や都道府県名など地理の基礎的な内容も学習しますので、試験前に必ず学習内容を復習しましょう。

### 4. 評価の観点

関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
思考・判断	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。
技能・表現	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに、追究した過程や結果を適切に表現する。
知識・理解	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄の追究の方法を理解し、その知識を身に付けている

### 5. 成績評価

1・2 学期	中間	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td></td> </tr> </table>	定期考査 (素点)		100%	
	定期考査 (素点)					
100%						
期末	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td>平常点 提出物・授業態度など</td> </tr> <tr> <td>80%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平常点 提出物・授業態度など	80%	20%	
定期考査 (素点)	平常点 提出物・授業態度など					
80%	20%					
3 学期	学年末	<table border="1"> <tr> <td>定期考査 (素点)</td> <td>平常点 提出物・授業態度など</td> </tr> <tr> <td>80%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期考査 (素点)	平常点 提出物・授業態度など	80%	20%
定期考査 (素点)	平常点 提出物・授業態度など					
80%	20%					

### 6. 生徒の皆さんへ

「地理A」では、教科書2ページの見開きで1つの項目を学習するように構成され、地図・統計・写真などが多く用いられています。これは分かりやすく学習項目を集約すると同時に、作業的・体験的学習を通して地理的な見方・考え方を身につけ工夫がされています。資料・統計の読みとりや地図の作製などの作業を通して、その地域住む人びとの生活・文化について理解を深めるようにしましょう。